

2017年度11月18日保護者会議事録（改善議題のみ）

（発表議題）

1. 生徒指導（安全とマナーの約束事）
2. 2018年度からはなびクラスの正式設置について
3. 会計改善

1、生徒指導（センターにおける安全とマナーの約束事）

近年センター全体の生徒数が増え、1クラスにおける生徒数も増えまた多様化し、こうした状況の中で生徒も教員も“安全かつ充実した”センター活動を送る為に、その対応法（ガイドライン）の設定を目的とする。
現教員に行ったアンケートを配布。（11月15日保護者メール添付資料を参照）

今回、保護者会にて承認事項

***安全確保（センターの廊下・階段を走らない、怪我しない、させない）家庭でも注意呼びかけをすること**

***イエローカード制度の導入。**

（イエローカードを出す基準に関しては、今後保護者・教員双方より有志を募り、その詳細を検討する。）

保護者：イエローカードは先生より生徒に渡すのか？

改善：教員より生徒に渡して、最終的に保護者に渡すことになる。

保護者：イエローカードを導入することで効力があるとは思えない。子供に渡しても保護者に届くとは限らない。
この問題は生徒と保護者間で行うべきだと思う。

改善：保護者自身が、自分の子供がクラス内で問題があるとまず理解していないケースが多い。

保護者：現地校でも同じシステムが使用されている。本人（生徒）に自覚を持たせる為にもイエローカードシステムは効力があると思う。

保護者：学力に関してもこのイエローカードを使用するのか？

改善：語学力に関しては、このイエローカードに値しない。クラス内で発言しない事で、他の生徒に迷惑をかけていることにはならない。今年は、先生方より、問題の生徒がいて困っているという報告は受けていない。
現場の先生方も、迷いながら、それぞれの問題に対処されている。

今回のイエローカードの導入は、問題の生徒を改善させ、継続してもらう為の処置であり、退講させるものではない。

役員：実際に、現場の先生方も、それぞれの指導方法で対処されています。今後、役員、該当保護者、改善の面談などのような場を作り、対応できたらという案もでています。イエローカードの規定についても今後話しあって決めていくことが大切である。

2. はなびクラスの 2018 度からの正式設置について

はなびトライアル期間（2017年4月～18年3月）を設け、実際どのような新しいクラスを設立するべきか、はなびクラスとは何か、その方向性を確立するため保護者や先生との意見交換を繰り返し、また毎週の授業レポートを開示するなどの情報共有に勤め、慎重に検討してきました。センターでは来年度の教員確保やクラス編成等の準備が1月から始まります。今現在トライアル期間中ではありますが、早急に設置の提案と同時に承認を得る必要があるのをご理解いただきたい。（11月15日保護者メール添付資料を参照）

2018 年度 4 月から、児童管轄のもと、はなびクラス正式設置承認

保護者：来年度からはなびクラスを希望したい場合、締め切り期限はいつになるのか？

改善：まずは、現在の担当教員の方に相談され、なるべく早く確定される方が望ましいですが、遅くとも3月上旬には確定されたほうがいいのか思います。

3. 会計改善

昨年度に引き続き、センターのあるべき会計について考慮し、今回はリサーチした資料（11月15日保護者メール添付資料を参照）をもとに、会計報告の見直し、教員ボーナスについて、意見交換をしたいと考えます。資料の数字は的確な資料がない為（センターのラップトップが古い為 情報が抜けていたりする。）、大まかな数字になります。生徒数（特に成人）に関しても開講時と閉講時では人数が変動します。

今回、保護者会にて承認事項

***2018 年度から会計報告の雛形の作成し、運営委員により使用（報告）**

***雛形の追加情報（生徒数、教員数（アシスタント含む）年間授業回数）**

***2018 年度から会計報告をセンターウェブに掲載すること**

改善：雛形に追加情報がある方は改善までご連絡頂けると助かります。

最終的な雛形は、今後会計改善で検討され、最終確認を朝の会で行う。

保護者：賃貸料は総支出に含まれているのか？

改善：賃貸料も謝礼金もすべて含まれている。

保護者：現時点で、センターは赤字なのか？

役員 会計：成人が3学期の時点で40名を割らない限り、現時点では赤字にならない見込みである。

もし、先生の時給を30分上げると授業料1ドルの値上げ（年間30ドルの増加）先生の時給を1時間上げると授業料2ドルの値上げ（年間60ドルの増加）

保護者：教員経験者から発言しますと、教員はボーナスのために働いているわけではないので、赤字でセンターが困っている状況であるなら、ボーナスがなくても問題ない。しかし、教員は実質の2時間だけではなく、授業の前後30分以上は早く来て準備したりしている。

保護者：現状維持が好ましい。

保護者：ボランティアアシスタントの方にも謝礼をあるべきではないか。

役員：昨年から心づけという名目でボランティアアシスタントにギフトカードを渡していると聞いている。

元役員：昨年は赤字だったので、最終的に渡していない。

保護者：アシスタントのボーナスは必要ないのではないか。その分を教員に渡してはどうか。

改善：経営から考えると、アシスタントなしで、一クラスに教員一人で10人以上の生徒のほうが効率がよい。アシスタントを入れることにより、赤字になる。

会計：いままで、謝礼などの金額をどうやって決めていたのか？

改善：今までは黒字対策として、その年の役員内で金額を決めてきている。今回、その謝礼などを最初から予算に組み込むか組み込まないのでは、どちらが会計としてはやりやすいのか。

会計：最初から予算に組み込まれていた方がやり易い。

保護者：教員の勤務体系を統一した方がいいのではないかと？労働時間が違うのに同じボーナスを出すのは矛盾している。

役員：実際、ぎりぎりに出勤する先生もいれば、早く来る先生もいる。しかし、ぎりぎりに来るといっても、ご自宅で準備はされているので、先生の勤務体系を固定することは難しい。

保護者：私は教員経験者ですが、交通渋滞などで遅れることもあります。先生皆さん、ご自宅で準備に時間を費やされている。ボーナスをあげるにより、クオリティを保つモチベーションにつながると思う。

保護者：ボーナスについて3択（現状維持、ボーナス廃止、時給の見直し）と出されても決めかねる。改善のほうから最善策を定義してもらって、保護者に決めてもらうのがいいのでは。

役員：これは承認ではなくアンケートですが、いままでの資料を考慮して、授業料が上がってもいいと思う保護者の方はどのくらいいますか？（半数ぐらいが挙手）それに反対で授業料を上げずに現状維持がいいと思われる方はどのくらいいらっしゃいますか？（少数が挙手）

役員：今回のボーナスに関する承認は得ず、考える時間を保護者に与えてほしい。

改善：3学期に役員や改善、有志を含む会議をし、再度、内容を見直して3学期に承認を得る流れです。すすめていく。あわせて、有志の方を募集していますので、ぜひ参加していただきたい。